

第5次貝塚市総合計画評価・検証結果概要

■実施概要	
目的	第5次貝塚市総合計画に基づく施策の進捗状況等について把握し、課題の整理や今後の方向性を検討することで、次期計画の施策検討の参考資料として活用するために実施しました。
実施方法	第5次貝塚市総合計画基本計画に基づく38施策について、4段階の総合評価を行うとともに、取組状況や課題、今後の方向性を、評価・検証シートへとりまとめました。

■総合評価結果

(A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:あまり達成できなかった、D:達成できていない)

評価	総計全体		将来像1		将来像2		将来像3		将来像4		推進方策	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
B	33	86.8%	7	100.0%	7	100.0%	10	100.0%	3	60.0%	6	66.7%
C	5	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	3	33.3%
D	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	38	100.0%	7	100.0%	7	100.0%	10	100.0%	5	100.0%	9	100.0%

C:あまり達成できなかった

将来像4 ひとと地域の資源を生かしのぎわいを生み出すまち
 施策 25 商工業を振興し、のぎわいと雇用を生み出す
 施策 28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす

推進方策 市民とともに紡ぐまちづくり
 施策 31 女性が活躍できる環境をつくる
 施策 33 市民参加による協働のまちづくりを進める
 施策 34 まちの魅力を全国に発信する

※成果：●、課題：■

■主な成果と課題

将来像1 心豊かな人が育ちふるさとに誇りと愛着を感じるまち

- 妊産婦から子育て世帯まで切れ目なく支援することも相談センターの設置や、子育て支援センターでの親子教室、子育て学習会等の実施、つどいのひろばを通じた親子の交流の場の提供など、子育て家庭を支える取組が進められました。
- 子どもたちへの教育では、教職員研修の充実やICT環境の整備、必要な人材配置等により、「知・徳・体」を総合的に育ていく教育環境を整えました。
- 生涯学び続けるための環境づくりとして、生涯学習講座では社会人や中高生、大学生の参加を促すことで参加者が増加しており、公民館活動を通じた地域で活動する人材育成が進んでいます。
- 子どもたちの育ちをめぐる問題の多様化・複雑化、人生100年時代における生涯学習へのニーズの高まりの中で、誰一人取り残さず、学びの機会を提供していくことが必要です。

将来像2 誰もが地域で健やかにともに支え合うまち

- 健康づくりについて、妊娠・出産・乳幼児期から高齢期に至るまで切れ目なく、ライフステージに合わせた相談体制を確保するとともに、産官民の連携による健康イベント等の参加機会も増加しています。

- 介護予防事業への参加や地域でのふれあいの場が広がるとともに、在宅介護サービス事業所が整備され、高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちになりつつあります。
- 障害がある人が必要とする相談やサービス等が充実し、教育、就労、文化活動などの機会を通じた社会参加、障害や障害のある人への理解が促進され、安心して暮らせる地域づくりが進みました。
- 市民主体の福祉活動について、ふれあい喫茶やいきいきサロンなどが地域に定着し、住民が集い、身近な相談の場としても広がっています。
- 自身の健康に関心が薄い層へのアプローチなど、主体的な健康づくりを促す支援により、健康寿命の延伸、介護予防につなげていくことが必要です。

将来像3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち

- 自主防災組織の増加や防災講座等の実施により地域における防災意識の向上に努めるとともに、防災拠点となる市役所本庁舎の建て替えや、避難所の開設に向けた準備、備蓄品の確保など、災害時に備えた整備による、防災力の高いまちに向けた取組を進めています。
- 貝塚警察署、防犯協議会、自治会等と連携し、各種啓発活動や、防犯カメラや防犯灯の設置促進、子ども見守り隊やスクールガードリーダーの配置など、市民が安全で安心して暮らせるよう、取り組んでいます。
- コンパクトな市街地の形成と、地域公共交通網の充実、防災まちづくりの連携による『コンパクト・プラス・ネットワーク』を進めるため、「貝塚市立地適正化計画」を策定し、利便性が高く良質な市街地の形成を誘導しています。
- 地域公共交通の維持・確保を図るための「貝塚市地域公共交通計画」を策定し、暮らしやすく訪れやすい環境づくりに向けた取組を進めています。
- せんごくの杜では市民協働による里山再生が行われ、市街地における自然豊かな緑地として市民の憩いの空間となり、生物多様性の確保にも寄与しています。
- 気候変動を踏まえた自然災害への備えとして、市民や地域の防災意識の向上や避難所や防災拠点の整備、充実が必要です。
- 安全で快適な市民生活のため、公共交通の利便性の確保や、道路、上下水道などのインフラの維持・保全、計画的な整備が必要です。

将来像4 ひとと地域の資源を生かしのぎわいを生み出すまち

- 創業支援や中小企業への経営支援などに取り組むとともに、せんごくの杜への企業誘致など、商工業の振興および雇用の確保を図りました。
- 農林業の振興について、農業祭の開催や大阪市内における貝塚市の農産物・観光イベントにおいて、本市の農産物の良さを消費者に理解してもらえるように直売を実施し、都市部の市民への知名度向上に努めました。
- 観光振興について、インターネットやSNSの普及により広く情報発信できる体制はできており、貝塚市地域ブランド推進協議会の取組などにより、知名度の向上に努めています。
- 市内の歴史的遺産の周知が進み、行政のみならず地域の人々や各種団体による歴史的遺産の保存と活用を担う取り組みが活発化しています。
- 産業面では、新たな雇用を生み出す企業誘致を図るとともに、コロナ禍や物価上昇、コスト高、人材不足等への対応のためデジタル化の促進や働き方改革など、企業に対する情報提供や支援が必要です。
- インバウンド誘致のための環境整備やSNS等を活用した情報発信も必要となっています。

推進方策 市民とともに紡ぐまちづくり

- 講演会や講座、広報等を通じた啓発や各種相談などを通じ、地域における男女共同参画や女性の社会参画の促進や、コスモス市民講座や、かいづか国際交流協会（KAIFA）の取組などを通じた多文化共生の推進に努めています。
- 町会・自治会は防災や福祉など、住みやすい地域づくりを目指す活動をし、NPOは、児童、高齢者、障害者などへの福祉支援の向上や、地域におけるスポーツ振興など、良好なコミュニティの形成に大きな役割を果たしています。
- 重要な施策は市民説明会や意見交換会を実施するなど市民協働に努めるとともに、住民票等証明書

のコンビニ交付やマイナポータルを使用した一部行政手続の電子申請の導入や、SNS やためまっぴ等の媒体を利用した活発な情報発信を実施しています。

- 人権・男女参画、多文化共生などの意識啓発、市民協働の促進に向けて、適切な情報発信や、参画の機会を設けることが必要です。
- 行政のDXの推進による業務効率化、適正な公共施設マネジメント等による安定的な行財政運営を図ることが必要です。